

第4次国有林野事業流域管理推進アクションプログラム (奥久慈流域)

1 流域の特色 (国有林 21千ha、民有林 27千ha)

- ① 本流域は福島県の南部に位置している。
温暖な気候で林地生産力も高く、国有林における人工林率は7割を超えている。
特に八溝山地では、塙町、棚倉町を中心に古くからスギを主とする産地化がなされ、「東白材」、「奥久慈材」として知られている。
- ② また、国有林には奥久慈県立自然公園、塙町自然体験の森、遊々の森など自然とのふれあいの場があり、森林を利用したレクリエーションや保健・休養の場として多くの人々に利用されている。
- ③ 古くから林業が盛んな地域であり、特に木材関連産業は、地域の主要な産業となっている。
- ④ 地球環境問題や身近な生活環境に対する関心の高まりに応え、久慈川流域の上・下流の住民等を主として、森林とのふれあいや森林整備の体験活動を通じ、水土保全・生活環境等の森林の持つ公益的機能への理解の向上が図られてきている。

2 流域内で優先的に取り組むべき課題

- ① 計画的な木材供給の推進
- ② 民有林・国有林が連携した森林整備の推進
- ③ 路網整備と高性能林業機械による低コスト作業システムの推進
- ④ 低コスト造林への取組
- ⑤ 上・下流住民が連携した森林環境教育等の推進
- ⑥ 間伐材の利用・未利用材等の木質バイオマス資源の需要拡大等への取組
- ⑦ 緑の雇用担い手対策事業に国有林のフィールドの提供

3 国有林野事業に対する流域内のニーズ・要望

- ① 計画的な木材供給の推進
 - ア) システム販売の推進
 - イ) 国有林・民有林一体となった、効率的な路網整備の推進
 - ウ) 林地残材等の活用促進
- ② 公益的機能を重視した森林整備
 - ア) 針広混交林化、広葉樹林化の推進
 - イ) 生物多様性・自然環境保全に配慮した森林施業
 - ウ) 景観に配慮した森林施業
- ③ 林業事業体の育成強化
 - ア) 計画的な事業発注

- イ) 低コスト作業路網の作設技術の向上
- ウ) 新しい施業方法等の開発・普及の推進
- ④ 森林環境教育等の推進
 - ア) 森林の公益的機能のPR強化
 - イ) 天然林等の保全・保護

4 国有林野事業が率先して行う取組

① 計画的な木材供給の推進

- ア) 目標
 - システム販売等安定供給の推進
- イ) 連携・協力機関
 - 製材工場等
- ウ) 取組方向
 - ・安定供給システムによる地域の製材工場への安定的・計画的な木材供給に取り組む。
 - ・未利用の林地残材の販売に取り組む。

② 森林施業の効率化・共通化等の取組

- ア) 目標
 - 低コスト造林への取組
- イ) 連携・協力機関
 - 県、町村、奥久慈流域林業活性化センター、林業事業者等
- ウ) 取組方向
 - コンテナ苗の植栽による造林方法の検証等に取り組む。

③ 林業技術の開発・普及・啓発、林業事業者の育成

- ア) 目標
 - 緑の雇用対策へのフィールドの提供
- イ) 連携・協力機関
 - 県、町村、奥久慈流域林業活性化センター、林業事業者等
- ウ) 取組方向
 - 緑の雇用担い手対策事業に伴う研修のための国有林フィールドの提供

④ 安全・安心への取組

- ア) 目標
 - 地域の防災意識の啓発
- イ) 連携・協力機関
 - 県、町村等
- ウ) 取組方向
 - 行政機関を中心とした治山連絡会議の開催

⑤ 生物多様性保全に配慮した取組の推進

ア) 目標

針広混交化、広葉樹林化等の森林整備の推進

イ) 連携・協力機関

県、町村、林業事業者等

ウ) 取組方向

生物多様性保全に配慮した針広混交化、広葉樹林化に取り組む。

⑥ 上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等

ア) 目標

NGO、ボランティアが行う森林整備等への支援

イ) 連携・協力機関

NGO、県、町村、奥久慈流域林業活性化センター等

ウ) 取組方向

- ・ 植樹祭の実施
- ・ 森林環境教育のためのフィールド提供
- ・ 関係機関、NGO等と連携した林業体験活動の実施
- ・ ボランティアによる森林整備や歩道整備活動への支援（安全・技術指導、作業道具の貸付）
- ・ 森林教室・体験林業等への講師の派遣
- ・ 企業の社会貢献活動への協力（CSR活動等）

流域名・流域番号	奥久慈流域（31）	担当部署	棚倉森林管理署
計画期間	平成22年4月1日～平成25年3月31日		